

2023年度

ニチキッズ松本おかだ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月9日（火）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月22日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念を職員が理解し、一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して自分らしさを表現しながら楽しい生活が過ごせるよう指導計画に基づき、保育を実践した。
子どもの発達援助	心身ともに健やかな発達を促せるよう、家庭とも連携し援助してきた。子どもの成長・発達を支え、個々に合わせた寄り添いに努めた。今後も発達の特性や個々の育ちに沿いながら、安心できる環境の下、適切な援助をしていく。
保護者に対する支援	朝夕の送迎時や連絡帳等により、園での様子を伝えたり保護者の思いを聞くなど、各保護者の立場を考慮しながら支援を行った。保護者との連携を大切にし、信頼関がさらに築いていくことができるよう努めた。
保育を支える組織的基盤	コロナ禍が明け、研修参加の充実を図った。園内では各クラスごとのミーティングを行い、園全体でも共有し、子どもの様子や育ちを把握するようにした。様々な視点からの知識やスキルアップを習得し、保育の質の向上に努めたいが、全職員での十分な時間の確保が課題でもある。

総評
「子どもが主体の保育」「ひとりひとりを大切にしたいあたたかい保育」の意識を常に持ちながら、全職員が努力することができた。一人ひとりの子どもと丁寧に向き合い、かかわることに努めた。開園3年目となり、子ども達の継続した集団生活での成長や、保育環境の整備、食育活動等、徐々に自園らしさにも手ごたえを感じてきている。次年度は、さらに小規模保育園の環境をいかした日々の生活や遊びの充実をめざし、職員が主体的に行動し、コミュニケーションを図りながら保育・調理に携わり、質の高い保育をめざしていきたい。また全職員が、子どもへも大人へも思いやりの気持ちと姿勢を常に持って業務に励んでいきたい。